

令和7年度 鳥取大学入学者選抜試験問題

(後期日程)

小 論 文

(地域学部 地域学科 国際地域文化コース)

(注 意)

1. 問題冊子は、指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子は2ページ、解答用紙は2枚、下書用紙は2枚である。
指示があってから確認し、乱丁、落丁、印刷不鮮明の箇所等がある場合は、ただちに試験監督者に申し出ること。
3. 解答は解答用紙（横書き）に記入すること。
4. 下書、メモ等を試みる場合は、下書用紙又は問題冊子の余白を利用してよい。
5. 解答用紙を持ち帰ってはならないが、問題冊子（及び下書用紙）は必ず持ち帰ること。

次の文章は、岡田暁生著『音楽の聴き方 聴く型と趣味を語る言葉』の第三章「音楽を読む――言語としての音楽」からの抜粋である。これを読んで、後の問一、問二に答えなさい。

この部分については、著作権の都合上、ホームページで公開しておりません。

この部分については、著作権の都合上、ホームページで公開しておりません。

(注) 京劇 中国の古典劇の一つ

【出典】岡田暁生著『音楽の聴き方 聴く型と趣味を語る言葉』中公新書 二〇〇九年
*設問の都合上、適宜ルビと注を付した。

問一 傍線部「音楽の言語性格」を筆者の見解に沿って二〇〇字以内で説明しなさい。

問二 本文の論旨を踏まえて「音楽は国境を越える」というイデオロギーの二重性をまとめた上で、それに対するあなたの考えを八〇〇字以内で述べなさい。